

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会 「第 4 回県民運動推進戦略部会」の開催結果について

1 日 時

令和 5 年 9 月 12 日（火） 10:30～11:25

2 場 所

オンライン開催

3 出席者

部会員 6 名 欠席者 なし（以下、敬称略）

学校法人松商学園松本大学 名誉教授 犬飼 己紀子

（特非）長野スポーツコミュニティクラブ東北 会長 柳見沢 宏

（公財）長野県長寿社会開発センター

主任シニア活動推進コーディネーター 戸田 千登美

佐久穂町総合政策課 主査 土屋 潤

小布施町企画財政課企画交流係 主査 小林 豊実

一般社団法人長野県観光機構 C X 事業部 スタッフ 宮原 理恵

4 委員会概要

〈検討事項〉

(1) 花いっぱい運動について（案）

以下、質疑応答

【部会員】

どのくらいの規模でやるのか。

【事務局】

装飾については、開・閉会式会場や競技会場をプランターで花を飾ったり、主要な駅や高速道路のサービスエリアに、ウェルカムデコレーションという大きな花のオブジェのようなものを飾る予定。金額や苗の数はこれから検討する。

【部会員】

せっかくきれいな花を育てても、プランターがバラバラだったりすると、統一性が無くてあまり見栄えが良くないと思う。また、自分が作った花がどこに置かれるのか分かっていた方が良い。

【部会長】

これまでもオリンピックの時とか、スポーツ関係でなくても、色々ところで花いっぱい運動は展開されているが、そのようなものも提案の中に入れて参考にしながら、時期的に、そして長

野県らしいものを主に提案してほしい。

【部会員】

今の時代なのでプラスチックの素材を使ったプランターよりも、素材もSDGsみたいな環境の視点をいれて統一感のあるものにするのが良い。かなりの数になると思うので、終わった後の活用も視野に入れて花いっぱい運動を進めていただきたいと思います。

リレー型栽培の具体的なイメージをお聞きしたい。

【事務局】

先催県の例では、リレー型栽培は、農業高校等に依頼して、種から苗を作り、苗になったものを幼稚園、小学校で花にして、市町村が各会場に配置する。

プランターの統一については、設備、苗を県ですべて用意し配布するので、統一はされる。プランターの素材については、SDGs等も考え検討する。

【部会員】

従来の幼稚園、小学校、中学校とか、学校の忙しさを考えると、その辺の協力は、プロセスのところから賛同していただくのが良いと思う。やらされる負担感が起きてしまわないようなプロセスの組み方をしないといけない。

【部会長】

花育てガイドブックを作成するので、そこに詳しく記載していただくことを期待する。

【部会員】

会場がない市町村も花を設置するのか。

【事務局】

これから検討するが、サービスエリアやインターチェンジ近辺にも飾る予定なので、競技がない市町村にもお願いする予定。

【部会長】

全県で大会を盛り上げていくことから、むしろ開催がない市町村に花いっぱい運動をしていただけたらよい。

【部会員】

小布施町では、花のまちづくりを大切にしている。オープンガーデン等の取組をしているところ。来訪する方のおもてなしという部分はもちろんあるが、それだけではなくて、町の皆さんの生活を豊かにする、幸せな生活を送るために重要なことですのですごく大事な部分だと思っている。

資料に大会終了後もと記載されているとおり、国スポの一過性のイベントで終わることなく、それをどうやったら県民の方の生活の中に入れていけるかという方法を、最初のところから考えていただけると良いと思う。

(2) 県民運動の手引（案）について

以下、質疑応答

【部会員】

名称を変えたことは良いと思う。

組織的にこれからの動きがどう反映されるかということにかかると思う。今後、準備委員会が具体的な実行委員会になる過程の中で、どんなメンバーでどのように準備委員会が機能していくのか、方向が決まったら教えていただきたい。

8ページのイメージ図の成果の継承について、国スポが終了する前に、終わった後の組織や場所を作りながら成果を継承していくことをやらないと、今までと同じでなかなか成果を継続することはできないと思う。スポーツ課の第3次スポーツ推進計画と連携して進めるということだが、その中から成果の継承は読み取れない。

終わった後はこういう組織で、こんなものを継承し推進していくことを作っていきながら進めることが必要だと思っているので御配慮いただきたい。

【事務局】

第3次スポーツ推進計画については、今年度から5か年ということで令和5年から9年までになり、国スポが開催されるのは令和10年になるので、おそらく、第4次のスポーツ推進計画が令和9年には審議され、今まで取り組んできたことを、計画どおりであるかと議論することになると思う。

我々国民スポーツ大会準備室は、国スポが終わると無くなる組織で、これは県の組織の中でやむを得ないこと。そうするとスポーツ課のスポーツ推進審議会を通して、こういった形で取組を継承し成果の検証を行うかということを含めて、組織のあり方については全庁的に検討しなければいけないこと。それについては、その時々によって判断されるもので、今から組織について判断することは難しい状況であることを御理解いただきたいと思う。

【部会員】

スポーツ課のスポーツ推進は色々変遷があるようだが、県のスポーツ協会がどんな動きをするかが非常に大事になってくると思う。これから第4次推進計画ができるという話もあったが、そこへ向けてスポーツ協会の動きをきちんと位置付けていくというのが大事だと思う。合わせてこのような意見もあったということで、載せていただければありがたい。

【事務局】

承知した。

【部会長】

民間の色々な自発的なグループが、たくさん地元にも県内各地にもある。そういったサークル、グループ、団体をピックアップしながら、スポーツもどきを含めて、県民全員を、特にスポーツに関わってこなかった方たちも巻き込めるようなものを御提案いただきながら、国スポ・全障スポに向けて県民運動を盛り上げていく方向での御意見をいただきたい。

ボランティア活動で会場美化があるが、プロキングという競技がある。ゴミ拾いとジョギングを掛け合わせたスウェーデン発祥のスポーツで、長野市でも4月ぐらいに開催された。松本、安曇野周辺では、プロキング信州という団体が盛んに色々なところで活動を展開している。こんな

ことを国スポ・全障スポを中心にもっと発展させていくことができないかと思う。

【部会員】

この手引は令和6年に配布するイメージか。

【事務局】

ホームページに公開し、市町村に準備委員会事務局から配付をする予定。個々の県民の方に、パンフレット等を作る予定は今のところ無いので、団体を通してご覧いただければと思う。

【部会員】

県民の皆さん、市町村、県のところに、おもてなしやPRがあるが、県民の皆さんが積極的にPR等をしたときは、自発的にどんどんやっていいのか。県でやるのでそこに乗ってほしいのであれば、情報がごちゃごちゃになってしまう。他の県の方に分かりづらいかと思う。

【部会長】

こんなことをやりたいと思っている人がいて、県がそれを吸い上げて、全県に向けてどんどん発信していく流れを、どこから具体的に進めていくのが良いのか。市町村の準備委員会にはこの流れの話はいつぐらいにするのか。

【事務局】

市町村等への手引きの周知については、先程申し上げたとおり、今年度中に専門委員会で内容を審議いただいたうえで、周知する予定。周知対象は広範囲にわたるため一律の周知は困難だが、ホームページやSNSなど様々な媒体を通して周知を図る。

基本的な考え方として、県・準備委員会において市町村等が行う取組に縛りをつけるイメージは持っていないが、何らかの発射台がないと具体的な取組が進まないので、国スポ・全障スポの開催を知っていただくことを前提に、まずは取組の目安として手引きを提案し、市町村・県民の皆様の自発的な取組を促したいと考えている。会場地市町村や地域団体・県民の方々も両大会の開催を機に地域活性化に向けた様々な取組を検討していると思うので、手引きを参考に、それぞれの立場で様々なアイデアを活かし、独自の取組を展開していただきたいと考えている。

【部会員】

あくまでも県民の皆さんは自発的にそれぞれがやってくださいということによろしいか。

【部会長】

こんなことはいかがでしょうかという意味合いでの手引を作成し、それを市町村や様々な自発的な活動団体が活かして、それぞれのアイデアによって自発的にスタートさせるということが良いか。パラパラと色々な活動が、国スポ・全障スポに向けて始まるという認識になる。

【事務局】

その通り。

【部会長】

手引の文言の作り方も色々に捉えられると思うが、県民運動の情報発信の流れも検討しながら進めていただきたい。

【部会員】

今の話に関連して、県民それぞれが自発的な動きを起こしたものが、県民運動につながってい

ることが分かる動きと、間接的な動きと様々だと思う。そのあたりを、SNSでやったことを見える化していくのか、それぞれの団体がマスコミに発信していくのか、統一したものがあるのか。その辺までイメージできているのかお聞きしたい。

【事務局】

今年度中に専用のホームページを開設し、SNSを活用してつながりを創る検討をしている。具体的には、県民の皆さんに活動を報告していただき、ホームページで公開する。それを見て他の方もこんなことだったら私にもできると思い、新しく取組を始めることを想定している。

【部会長】

色んなものが各地で始まるということであるが、県に「こんなことをやりたいんだけど」ということを報告する必要はないのか、報告することによって、「これは国スポ・全障スポの県民運動推進の一環です」ということがチラシにでも載せられるのか。

もう一点は、国スポ・全障スポの推進運動としては好ましくないものを勝手に載せられてしまったら、それに対する対応はどうするのか、お聞かせいただきたい。

【事務局】

「県民運動の活動をホームページで公開しますので報告してください。」という働きかけを想定している。そのうえで活動の内容を精査し、できるだけ掲載する。来年度はSNSキャンペーン等を計画し、広報していく予定。